

## 数 学

- 1) 実数を係数とする関数  $f(x) = -x^2 + ax + 1$ ,  $g(x) = ax^3 + 2x^2 + ax - 3$  ( $a < 0$ ) に対して,  $y = f(x)$  と  $y = g(x)$  が  $b \neq c$  として  $x = b$  で交点をもち,  $x = c$  で接するとする.
- ①  $a$ ,  $b$ ,  $c$  を求めよ.
  - ②  $y = f(x)$  と  $y = g(x)$  で囲まれる領域の面積を求めよ.

解答欄	① $a =$	$b =$	$c =$	②
-----	---------	-------	-------	---

- 2) 中心が  $(2,3)$  である半径 1 の円に対して, この円周上の動点を  $A$  とし, 点  $(-3,4)$  を  $B$  とする. このとき,  $O$  を原点としてベクトル  $\overrightarrow{OA}$  と  $\overrightarrow{OB}$  の内積が最大になるときの  $A$  の座標を求めよ.

解答欄	
-----	--

3)  $xy$  平面上の原点を  $O$  とし、点  $A_0$  を  $x$  軸上にとる。このとき、 $OA_1$  を斜辺とし  $\angle OA_0A_1$  を直角とする直角三角形  $OA_0A_1$  を  $T_1$  と表す。原点  $O$  と  $OA_2$  を斜辺とし  $\angle OA_1A_2$  を直角とする直角三角形  $OA_1A_2$  を  $T_2$  と表す。このようにして  $OA_n$  を斜辺とし  $\angle OA_{n-1}A_n$  を直角とする直角三角形  $OA_{n-1}A_n$  を  $T_n$  と表す。また、 $OA_0$  の長さと  $A_0A_1$  の長さをそれぞれ  $a_0$ 、 $a_1$  と表す。

①  $T_i$  ( $i = 1, 2, \dots, n$ ) がすべて相似のとき、 $T_1$  から  $T_n$  までの面積の和  $f(n)$  を  $a_0$ 、 $a_1$  を用いて表せ。

②  $a_0 = \frac{\sqrt{5}}{2}a_1$  とする。このとき、 $f(m) \geq 100f(1)$  を満たす最小の自然数  $m$  を求めよ。必要なら次の値を用いても良い。 $\log_{10}2 = 0.3010$ ,

$$\log_{10}3 = 0.4771, \log_{10}5 = 0.6990.$$

解答欄	① $f(n) =$	② $m =$
-----	------------	---------

4)  $x$  の 2 次方程式  $nx^2 + 3x - 9 = 0$  が整数解をもつとき正の整数  $n$  をすべて求めよ。

解答欄	$n =$
-----	-------